

株式会社 西鶴 代表取締役 山本一郎 氏

業界きってのスペシャリストに事業成長の裏側やビジネスのポリシー、業界への思いなどを聞く「業界スペシャリスト・インタビュー」。今号では徹底した社員教育の実行と高いポリシーに基づいた霊園開発で、ここ数年のコロナ禍の中であっても順調に業績を伸ばしている株式会社西鶴（大阪府交野市）の山本一郎社長にご登場いただいた。

転機となった樹木葬専門霊園「千年オリーブの森」の開園で、お墓や墓石を売る感覚からの脱却で癒しの空間や環境を訴求。新卒入社社員でも抵抗感なく売れる霊園の開発を目指す。



明治時代にタイムスリップしたかのように、明治45年生まれの子供を「法要電車」として自社霊園に再現。業界の先駆けとして、母の日には「カーネーション」、父の日には「ひまわり」を供える供養イベントも定番に。毎年8月15日の萬灯祭も今年で17年目を迎える。枚方市への車椅子の寄贈はすでに計52台。3年前からは車の寄贈へ。何かと話題に事欠かない株式会社西鶴の山本一郎社長だ。

とりわけ、2018年に開園した樹木葬専門霊園「ハピネスパーク 千年オリーブの森」は、コロナ禍にもかかわらず好調を維持。その後、「堺・和泉」「枚方・牧野」も次々とオープン。同社のブランディング構築の成功を探る。 (インタビュー記事、P34へ続く)  
 (メモリアルジャーナリスト 北川雅夫)